

一級危機管理士 勉強会レポート

2023年6月17日（土）

一級危機管理士取得者3名の方に、Zoomを使用したオンラインによる研究発表をしていただきました。

■「グローバル企業におけるBCP策定推進の課題」

副題：業種や組織構成の異なる2社に関する考察

川村丹美様

BCP導入に関する日系企業2社（輸送・倉庫業等、製造・販売）を対象に、BCP導入の動機やBCP導入のための対応などについて事例比較を行い、各社の課題と対応を考察されました。具体的には、A社はBCPについての理解やBIAの進め方について、拠点によって理解度が異なり、BIAやBCPなどの成果物のレベルに濃淡が見られたことなど、B社は説明会への出席率は高いが、人事の流動性が大きく担当者の変更が頻繁に発生するため、担当者の理解促進にとどまってしまい、組織全体に浸透していないなどのご指摘がありました。

■「初めの一步！ シンプルな地区防災計画のススメ」

小牧 学様（伊那市）

伊那市では、過去に何度も風水害が発生した経験を踏まえて、どんな災害が起こっても無事に生きることが重要であることを学び、「災害時住民支え合いマップ」や「地区防災計画」などの新しい取り組みを説明されました。「災害時住民支え合いマップ」では、要配慮者に特化した訓練により、地域内の「逃げ遅れゼロ」を目指し、「地区防災計画」は、平時の準備や災害時における地域の行動を、地域内の居住者や事業者のみんなで決めた地域独自の防災計画で、富県貝沼区地区防災計画については詳しく説明されました。

■株式会社ジャニーズ事務所の危機管理対応の考察

中川信博様（株式会社 久平）

これまでのジャニー喜多川の性加害疑惑含む疑惑の経過を振り返った上で、ジャニーズ事務所の危機対応について説明し、危機対応の批判を紹介されました。一方で、経済的損失、社会的制裁などの観点から国内外の類似事件との比較をされ、さらに、危機対応の分析として、報道の統制の実態や当局の配慮の詳細な説明があり、国内外の識者や報道関係者などから日本社会の危機であるとの認識が示され、ジャニー喜多川のグルーミングを容認してしまう日本社会が被る、国際的な権威と信用失墜の懸念を強く表明されました。

コロナの感染収束に至らず、今年も Zoom での開催となりました。

この 2 年で Zoom が身近なものとなり、多くの 1 級会員の方にご参加いただきました。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。